

# いちめんのなのはな

令和元年 7月 5日 (金)  
こうちよう すすき まこと  
校長 鈴木 誠



体育館の北側で、あじさいが雨に打たれて輝いていました。

「総合的な学習の時間」の学習が進んでいます。

## 3年生・「生きる力」健康な食生活をめざして～元気な毎日と食べ物～

### ・マヨネーズ教室 7月2日 (火)

3年生が「総合的な学習の時間」の学習で、キューピー株式会社から講師を招きマヨネーズと食について学びました。

はじめに、マヨネーズの材料や作り方などの秘密に加え、裏技などを学びました。続いて、講師の先生に作り方のお手本を見せていただいた後、次に自分たちで作りました。子供たちは、自分たちにマヨネーズが作れるか半信半疑でした。でも、進んで卵の殻を割ったり、汗をかきながら交代で攪拌したりする姿を講師の先生からほめていただくほどがんばり、見事に完成させました。



さて、マヨネーズが完成したら、次は試食です。ボールにある自作のマヨネーズと、キューピーの工場で作られたマヨネーズをキュウリに付けて食べ比べました。自分たちが作ったものの方が好評でした。子供たちは「(自作の方が)甘い」「(自作は)がんばった味がする」などの感想を口にしながら、お互いが作ったマヨネーズも試食しました。

### ・スナックスクール 7月3日 (水)

3年生は前日に続いて、カルビー株式会社から講師を招きスナックスクールを受講しました。おやつは心の栄養、食事の2時間前までにとり終わるとよい、小3の適量はポテトチップスなら35g (200kcal)、などを学びました。

感心したのは、班で相談して普段のおやつを紙皿にとって計量した場面です。なんと、すべての班が35g以下だったのです。講師の方が、「日頃の子供たちのおやつのとおり方が健全な証拠です。御家庭の教育力の高さの賜物ですね」とほめてくださいました。



## 6年生・守ろう大切な命 守ろうぼくらの六ツ美中部

### ・防災講座 (岡崎市役所防災課) 7月4日 (木)

6年生が、「総合的な学習の時間」の学習で、市防災課から防災対策係の方を招きました。過去の震災における状況、まずわが身を守ること、近所づきあいや友達の大切さ、今できる備え等を学びました。防災課の方は、中部学区の近所付き合いの良さに感心してみえました。

講座後には、何人かの子供が、「さっそく『転倒防止マット』で家の対策をすすめたい」と話したそうです。





## 体育委員会主催 「全校 だろけい」 7月2日（火）

梅雨らしい日が続くこの頃ですが、運動場の状況に味方され、体育委員会が計画してきた「全校 だろけい」を実施することができました。久しくまぶしい太陽を見ることができていませんが、このときばかりは、運動場に子供たちの輝く笑顔があふれました。大げがにつながる衝突もなく、参加した子供たちは、汗をたっぷりかき、楽しい時間を過ごしました。

一方、ルール of 徹底などで課題がないわけではないようです。反省を重ね、よりよい企画や参加ができるようになってほしいと思います。体育委員会さんありがとうございました。

## 5年生・理科学習「リニア・鉄道館見学」 7月3日（水）

5年生が、理科学習の単元「電磁石の性質」での学習として、名古屋の「リニア・鉄道館」を訪れました。

子供たちは、ハンドルを回して発電し模型の車体を浮かす装置でリニアの仕組みを体験的に学んだり、リニアの疑似体験によって「浮いたとき、まったく振動がなかった」などの感想をもったりしました。



## 「PTA親子教養講座・学校保健委員会」 6月28日（金）

講師に中京大学の名誉教授である湯浅景元様をお招きして、「PTA親子教養講座・学校保健委員会」を開催しました。



はじめに、保健委員会が、本校の4年生から6年生までの子供たちの「睡眠・食事・運動」について調べた結果を、グラフを示しながら説明しました。

次に、湯浅景元様に「体のリズムに合った生活を考える -睡眠・食事・運動-」を演題に御講話をいただきました。スポーツ選手の身体運動力学・解剖学・生理学を、様々な角度から科学的に分析し、日本を代表する浅田真央さん、小塚崇彦さん、室伏広治さんらのスポーツ選手を指導してきた経験に基づく氏の話、

子供たちはうなずきながら最後まで耳を傾けました。

また、「バランス」「アジリティ」「ストレッチング」「レジスタンス」については、子供たちだけでなく、参加された保護者の皆さんも実際に体を動かし、体験的に学ぶことができました。

御講演の最後には、質問を受け付けていただきました。子供たちは、70歳を過ぎても元気ではつらつとされる湯浅様のお元気な姿に刺激を受けて、次々と質問をしました。そうした質問に湯浅様は、「夢をもつことが大切」「1秒でも長く立つことを意識している」「健康とは何かを自分なりに考えましょう。健康は人によって違う」「今日勉強したことを一つでもノートに書き留めるとよい」などとお答えくださいました。時間の許す限り、丁寧に一人一人の質問にお答えくださる誠実な対応が印象的でした。

